

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類		詳細点検	
事務事業名		A 一般事務事業			
博物館魅力向上事業		シート番号		08-64	
担当部署名		文化観光 局		博物館 部	
		学芸 課		評価責任者(課長名)	
				増田	

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	歴史文化を活かしたまちづくりの推進	無
	2	事業開始年度	平成 26 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	博物館法・文化財保護法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	百舌鳥古墳群ガイダンス施設の開設に伴い古代常設展示をリニューアルした「百舌鳥古墳群ガイダンス施設(暫定)設置に伴う博物館リニューアル事業」の完了後、引き続き博物館のリニューアルを継承する事業として実施することになった。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (堺市博物館) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()	
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	本市への来訪者及び市民	
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	堺の魅力発信や観光集客を担う歴史・文化発信の中心施設として、堺市博物館の魅力をより向上させる。	
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	①常設展示リニューアル わかりやすく興味深い展示内容にするため常設展示をリニューアルする。30年度は常設展示の中世コーナーをリニューアルした。 ②ミュージアムグッズの作製 博物館への来館記念品として、百舌鳥古墳群世界遺産登録PRグッズ等を充実させて販売する。30年度は新規グッズとして、古墳時代の出土品をモチーフに、フィギュア・キーホルダー・マグカップ等6件を作製した。	
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 委託業務の受注者		

Ⅲ. 投入量

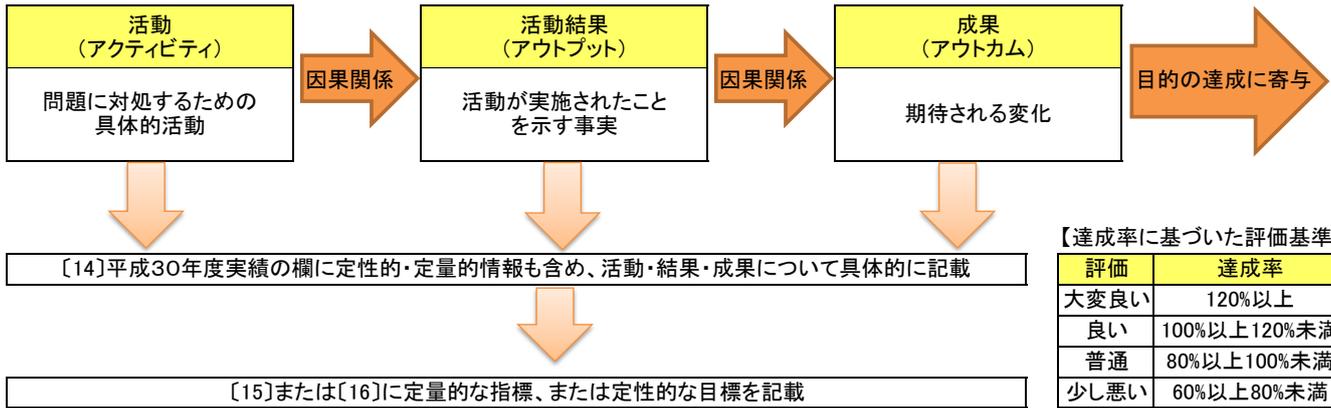
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	21,256	39,466	7,909	3,906	
	主な事業費内訳	委託料	千円	19,687	2,131	7,244	2,377
		工事請負費	千円	0	2,190	0	0
			千円				
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円	0	1,619	0	0
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他(基金繰入金・物品売払収入)	千円	1,711	32,862	7,001	2,259
		一般財源	千円	19,545	4,985	908	1,647
	12	人件費 (b)	千円	3,280	3,280	3,280	4,860
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	24,536	42,746	11,189	8,766	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	博物館魅力向上事業	シート番号	08-64
-------	-----------	-------	-------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	○中世常設展示リニューアル (8~3月) ○グッズ製作 ・フィギュア5種(埴輪犬・冑・円筒、石棺、甲冑) ・前方後円墳キーホルダー ・犬形埴輪パズル ・常金具ブックマーカー ・百舌鳥古墳群カレンダー						
	15	ミュージアム・グッズの新規開発	個	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		指標名		目標値	2	2	6	5
				実績値	1	9	15	
				達成率	50%	450%	250%	
				評価	悪い	大変良い	大変良い	
		算出方法・設定根拠など	既存グッズの追加に加え新規グッズの開発					
	16	施設利用者の満足度	%	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		指標名		目標値	95	95	95	95
				実績値	99	98	97	
			達成率	104%	103%	102%		
			評価	良い	良い	良い		
	算出方法・設定根拠など	アンケート						

業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	中世常設展示のリニューアルは、平安時代~室町時代の基礎資料の紹介を中心に行った。今まで十分に紹介できていなかった部分であり、目的は達成できた。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。